平成29年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」 事業実施報告書

Ι	スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び	!
\mathbb{I}	マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成	į

- □ スポーツを通じたインクルーシブな社会(共生社会)の構築
- IV 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の
- V スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成

道府県・政令市名【 札幌市 】

1実践テーマ	[I、Ⅲ、V]		
2実施対象者	札幌市立旭小学校		
		5学年 50名	
3展開の形式	(1) 学校における	S活動	
	① 教科名(位		
	② 行事名()	
	③ その他 ()	
	(2) 地域における) S活動	
	① イベント名		
	② その他	()	
4 目 標	<u> </u>	ンピック・パラリンピックへの理解を深めると	
(ねらい)	ともに、「ふるさと	二札幌」を愛する心の育成を図る。	
(18.301)	・オリンピック・パ	ラリンピックの理念を基盤として、他者との共	
	生の思いをもちな	がら、生涯にわたって運動やスポーツに親しむ	
	態度の育成を図る。		
5 取組内容		1日(水)、どうぎんカーリングスタジアムにお	
		を行った。また、元オリンピック選手の近江谷 があり、バンクーバーオリンピックでの経験、	
		たものや、オリンピック・パラリンピックの価!	
	値についてお話をい		
		7C/CV 1/C°	
	〇指導計画		
	[4時間扱い]		
	[朝の会]数回		
		冬季オリンピック大会の時期と重なったので朝	
	の会等でオリンピ		
	・カーリングのルー	ルややり方を知る。	
	[体育] 2時間	エニトフ=誰手を応え	
	・	手による講話を聴く。	
	「道徳」1時間	牛高犬・仁 ソ ②。	
		学んだことを振り返る。	
		リンピックの価値を学ぶ。	

《学習の様子》』

〇元オリンピック選手近江谷杏菜さんの講話。

オリンピックやカーリング人生のお話をしていただいた。』





〇カーリング体験。

1.0人グループに講師の方が1名ついてくださった。最初に基本的な用具の使い方を学習し、そのあとで氷の上を歩いてみた。初めて使う道具に子どもたちは大客びだった。1時間ほど練習した後、最後に2つのチームに分かれてミニゲームをすることができた。。







○感想(子どもたちの声)。

- ・予想よりもストーンが重かったです。滑るのも難しかったです。。
- ブラシでのスイーブが難しかったです。しかし、短期間でも指導員の方々のおかげで上速することができました。。
- ・オリンピアンの講話の選手村の話や会場のセキュリティーなどの話がとても面白く、興味をもつ ことができました。』
- ・オリンピックでは自分の全力を尽くすことがとても大切であるということを知りました。ぼくも 努力することを忘れずに頑張りたいです。。
- ・今回、この施設があることを初めて知りました。また、機会があれば体験しに行きたいです。』
- ・普段行うサッカーと比べて、違う楽しさがありました。

6 主な成果

事前学習として、オリンピック・パラリンピックの歴史や冬のスポーツの種類、カーリングのルールなどの学習をした。子どもたちはスキーについては比較的知っていたが、スキー以外の冬のスポーツにはあまりなじみがなかった。今回平昌オリンピックをきっかけにカーリングやスケート、スノーボードなどのスポーツを知ることができたこと、またその施設が札幌にたくさんあることを知るよい契機となった。子どもの感想の中には、施設に行ってみたい、スキー以外の冬のスポーツをもっと楽しみたいとの感想が多く、札幌を愛する心やスポーツに親しむ心を育てることにつながった。

当日は、普段お会いすることのできないアスリート、近江谷さんのお話に聞き入っていた。あきらめない心やチームワーク、選手村などのお話は興味深く、子どもの心に響いていた。「私もオリンピックを目標としたい。」という子もいて子どものやる気につながっていた。実際のカーリング体験ではたっぷりカーリングに浸ることができた。最初はうまくできず戸惑っていたが、ご指導によりどの子も

-	
	ストーンを真っすぐに投げられるようになり、楽しいという声があ ちこちに広がっていた。ミニゲームまでできてとても満足できる体 験であった。
7実践におい て工夫した点 (事業の特 色)	取組の内容に記載した通り。
8主な課題等	今回は、平昌オリンピック開催中というまさにタイムリーな時期の体験であったので子どもたちの興味関心が自然と高まっていた。 来年以降も行う場合は札幌市の資料などを効果的に活用していく必要があると感じた。また、3年生の社会科札幌市の学習の中で、 札幌市のスポーツ施設調べを行い体験につなげていくなど、効果的な位置付けの工夫の余地もある。
9来年度以降 の実施予定	経費や講師の確保等、持続可能な仕組みづくりを検討している。